

第62回定時総会を開催（新制度下第1回）

貸借対照表及び正味財産増減計算書を承認 理事4名選任 22年度事業等を報告

当センターの第62回定時総会（新公益法人制度下では第1回）が6月22日午後、七生公会堂で開催されました。三輪理事の司会で始まり、渋谷理事が開会のことばをのべました。

最初に北村会長は恒例の会長挨拶で、まず東日本大震災の犠牲者へのご冥福と被災者へのお見舞いをのべ、この非常事態下で当センターも新公益法人として新しい対応をしなければならぬと強調しました。挨拶要旨は2面）

名誉会長である馬場弘融日野市長は公務のため来場されず、田原茂日野市議会議長から祝辞をいただきました。次いで8名に対す

総会議事の他の事項は、次のとおり。

る役員 会員表彰が行われ、各氏に北村会長から感謝状と賞品が贈呈されました。（祝辞、表彰は3面）
従来は決議事項だった前年度事業報告、収支計算書報告は今回から報告事項となり、安藤事務局長が報告を行いました。
決議事項として、総会議事運営規則、貸借対照表及び正味財産増減計算書、理事4名の選任 の3議案について今井副会長の説明、報告事項として就業規約の一部改正について安藤事務局長の説明を受け、総会はこれを原案どおり承認しました。最後に、吉本理事が閉会のことばをのべました。

月刊
さわやか

第51号
平成23年7月15日

《発行》
公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

会員数
平成23年5月31日
1,753名
男性 1,352名
女性 401名
入会者数
5月 32名
(男25名、女7名)
但し、退会者1名



資格審査報告
本日の会員数 1783名
本日の出席者 179名
委任状提出者 1091名
議決権行使 5名
合計1275名(71.5% 過半数)で総会成立
議長団の選出
議長 菅原嘉雄氏(百草台)
副議長 伊藤義規氏(東豊田)

補充役員を加えた新役員総勢 (H23.6.22)

	氏名	地域班	経歴
理事	有賀 信夫	多摩平2	理事、事業部会員
理事	安藤 恒美	特別会員	事務局長
理事	系井 運平	平山2	地域班長
理事	今井 信一	多摩平1	理事、事業部会長
理事	金田 春雄	日野本町	地域班長
理事	川久保紀子	特別会員	日野市健康福祉部長
理事	北村 謙司	落川・百草	理事、会長
理事	渋谷 善子	東平山	理事、広報部会員
理事	三輪 信雄	多摩平2	事業部会員
理事	吉本 清美	栄町	広報部会員
監事	沢井 茂	南平3	監事、地域班長
監事	大島 康二	特別会員	監事、日野市課長

任期は平成25年6月定時総会まで。

今回6ページ建て

安藤常務理事を選任
委員会の構成員を決定
第5回理事会

第5回理事会が6月29日、センター会議室で開かれました。理事会は初めに、定款第23条2項に基づいて安藤恒美事務局長を常務理事に選任しました。続いて、委員会設置規程により新しい委員会の構成員を決定しました。
(4面で詳報)

第62回定時総会

北村会長の挨拶 (大要)

第62回定時総会にあたり会員の皆様にはお忙しいなか、ご出席いただきありがとうございます。また、ご来賓として日野市議会議長田原茂様にはご多忙の中ご臨席を賜りました。

まずは、東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。加えて、震災及び原発事故によっていまだ避難生活を余儀なくされている被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

今回の震災及び原発事故により、東北3県のみならず、北関東のシルバー人材センター(SCC)も被害を受けております。全シ協が音頭をとり、全国のSCCから義援



挨拶する北村会長

金を募りました。寄せられた8400万円は被災地のSCC県連合あてに贈られ復興に活用されています。

また、日本各地に避難されているシルバーの方々のために避難地のSCCに特例会員として登録し、就業できる制度が用意されました。当SCCでも2名の方が登録され、就業されています。

平成23年度のスタートは、我々にとつて「公益社団法人 日野市シルバー人材センター」としての第一歩です。今後、自発的な公益活動を活性化させ、その分野を大きく強いものにするのが肝要です。また、しつかりとしたガバナンス、厳しい財務基準、情報公開による透明性、コンプライアンス等が求められます。

国の事業仕分で補助金は3分の1カットされ、民間企業やNPO等との競争も激化しています。

しかし、我々には「高齢者の生きがいと健康の実現、就業の場の開拓、地域への貢献」を実践してきた32年の歴史があります。厳しい環境下ではありますが、地域活性化に不可欠な事業体として日野市との連携を密にして事業を推進してまいります。

選任された4理事

うち3理事を壇上で紹介

第62回定時総会では、次の4氏が新たに理事に選任され、公務で欠席された川久保氏以外の3理事が壇上で紹介されました。

安藤恒美氏(特別会員)〓事務局長

糸井運平氏(平山2班)〓地域班長、前就業開拓員

金田春雄氏(日野本町班)〓前地域班長、前安全管理委員

川久保紀子氏(特別会員)〓日野市健康福祉部長

なお、この補充理事の選任に当たっては、地域班長等から計7名の推薦があり、このうち2名が第3回理事会で選考されました(特別会員は除く)。

訂正 本紙前号で次の2カ所に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

4面1段目、安全標語佳作入選者の「田中富士夫」は「田中富士人」の誤りでした。

1面3段目「各班で地域班会議始まる」の記事中、「5月29日三沢班」が欠落していました。

理事会ニュース

第5回理事会 6月29日

審議事項〓 正会員の入会、常務理事の選定、委員会の構成

報告事項〓 5月事業実績

「センター」行事日程

9月13日(火) 第3回地域班長会議〓生活・保健センター

読売新聞が当センターを取材

節電の影響等について

読売新聞武蔵野支局の稲村雄輝記者が7月4日、当センターを来訪し、東日本大震災および福島原発事故による節電が会員の就業にどのような影響を与えているかについて取材しました。これには安藤常務理事、事務局長と平山交流センター職場リーダーの糸井氏が応対、半田事務局長代理が同席しました。

東日本大震災義援金募金集計結果は2万7674円 皆様、ご協力ありがとうございました。

配分金の支払日

- 7月20日(水)
- 8月19日(金)
- 9月20日(火)
- 10月20日(木)
- 11月18日(金)
- 12月20日(火)
- 1月20日(金)

第62回定時総会

田原日野市議会議長
祝辞(要旨)

第62回定時総会の開催おめでとうございます。公益社団法人として新しくスタートを切られたことにお喜び申し上げます。

先程、会長さんから、この度の東日本大震災に対するシルバ人材センターとしての支援活動等についてお話がありました。

日野市としましては、まずは災害協定を結んでいる福島県会津若松市に11名の職員を派遣、順次、宮城県仙台市・南三陸町、岩手県釜石市・大槌町、千葉県浦安市等に随時職員を派遣し、全力で支援をしてきております。



田原議長

今回の震災では、法人関係の税収がかなり低下するのではないかと危惧されております。市議会としましては、財政支出については従来にも増して厳しくチェックしてまいります。

シルバ人材センターのお仕事は、大変公益性の高いお仕事が多く、それだけ日野市と密接な関係にございます。日野市議会として、皆さまの働きやすい環境づくりのために、しっかりと補助金等を含めて、行政に対し、意見・要望をしていく所存です。

第62回定時総会
役員・会員表彰

平成23年3月31日付で退任した下記の理事4名および地域班長4名に対し、第62回定時総会で役員表彰、会員表彰が行われました。「これは当センター「表彰規程」の次の項目に基づくものです。

役員表彰「センター」の役員を継続して2期以上在任した者のうち、退任した者。

会員表彰「センター」事業の発展に寄与し、その業績が顕著な者。

役員表彰

役職名	氏名	就任期間
理事	伊藤 幸平	平成19年4月1日～23年3月31日
理事	田中 政寿	平成19年4月1日～23年3月31日
理事	橋本 幸久	平成19年4月1日～23年3月31日
理事	渡辺由紀子	平成17年4月1日～23年3月31日

会員表彰

役職名	氏名	就任期間
地域班長	金田 春雄	平成17年4月1日～23年3月31日
地域班長	清水 憲素	平成16年4月1日～23年3月31日
地域班長	小俣 義光	平成19年4月1日～23年3月31日
地域班長	川畑 敏暢	平成16年4月1日～23年3月31日



表彰を受ける伊藤前理事(右側)

第62回定時総会
第1・2号議案についての補足説明

第1号議案、第2号議案の内容については、総会で今井副会長より説明がありました。その上で両文書の由来、性格について若干補足します。

総会議事運営規則

新公益法人制度への移行に伴い導入された規則です。従来、シルバ人材センターの総会議事運営は、定款や諸規程、あるいは慣例によって比較的スムーズに実施されてきました。今回の新制度移行に当たって、これまでの慣例的な運営方式を一つの独立した「運営規則」として明文化したのが、この文書です。

貸借対照表及び正味財産増減計算書

名称がなじみませんが、この文書も新制度移行に伴い導入されました。従来の各年度ごとの収支計算書を、新制度の形式に適合させたものです。

「4面に続く」

《新しい委員会の構成員》

任期：平成23年7月1日～25年3月31日

各委員会の委員長、副委員長は委員のうちから互選により選出(委員会設置規程第4条)。

委員会	構成員名(50音順)	所掌事項
総務委員会	糸井運平、岡村和夫、賀来英紀 渋谷善子	会員の増強及び研修に関すること 組織管理に関すること センターの広報に関すること 他の委員会に属さないこと
事業委員会	有賀信夫、糸井運平、大間知紀彦 三輪信夫	就業開拓に関すること 職群班に関すること 独自事業の運営に関すること
地域委員会	有賀信夫、金田春雄、吉本清美	地域班の運営に関すること 社会奉仕活動に関すること
女性委員会	渋谷善子、高木計宏、吉本清美	女性会員の増強に関すること 女性会員の就業機会の開拓・拡大 女性会員の研修及び市民向け講習会

(注)各委員会の定数は5名以内。したがって、委員の数は5名まで増やすことができます。

会報小委員会	今村 優、鈴木 博、田中政寿	『月刊さわやか』及び『シルバーひの』の編集と発行
--------	----------------	--------------------------

(注)小委員会は、委員会設置規程第2条「...必要に応じて委員会に関連した小委員会やワーキングチームを設置することができる。...」により設置。会報小委員会は総務委員会関連になります。

「3面からの続き」

したがって、正味財産増減計算書が、形式内容とも従来の収支計算書に照応します。これがセンターの当該年度の経営実績です。貸借対照表は、財政状態を明らかにするために、経営実績を資

産負債(収益(正味財産)等の簿記の要素に分けて計算記録したものである。これが導入された根底には、新公益法人においては「収支相償の原則」(収入と支出の一致)内部留保の不可)が求められるという事情があります。

地域班長だより

新井 高幡班 土方 正作

先の第2回地域班長会議(6月3日)でも発言したことで、シルバー人材センターの事業収支について、この機会に改めて自分の考えをのべてみたいと思います。

平成22年度事業報告と収支計算書について、

安藤事務局長より説明

事業毎の収支を分り易く

今後、お願いとして、

がありました。事業収支全体の状況は、資料を見れば一応わかります。私がおかしいところ、個々の事業、つまり受託事業、独自事業、リサイクル事業等の事業ごとの収支状況です。

たとえば、リサイクル事業について。22年度の収支をみ

ると約865万円の赤字です。ちなみに21年度の赤字は約582万円。赤字幅がふくらんでいます。それはなぜか。どうして赤字になるのか。リサイクル事務所の賃借料が年約780万円と最近「月刊さわやか」(第49号)で知りましたが、それと赤字の関係は？ こうしたことが収支報告ではわかりません。

そこで、

個別事業ごとの収支状況がわかるようなものを「ガイド版」として作成していただけないでしょうか。簡単なメモのようなものでも結構です。会員がセンターの財政状況をよく理解できるように、事業活動にも真剣に対処するようになると思います。

“仕事をふやそつ” 就業コーディネーター

「仕事をふやそつ」 就業コーディネーターの活動紹介

みなさん、就業コーディネーターってご存知ですか？ 就業開拓員ならご存知ですね。そう、当センターの「営業マン」。しかし、営業活動（就業開拓）だけでなく、就業希望会員への仕事斡旋や相談、トラブルの処理も行いますので、コーディネーター（調整者）と呼ばれています（就業開拓員制度についてはそれぞれをご覧ください）。

現在の就業コーディネーターは徳田功氏と小森敏氏の2名。事務局の一角に籍を置き、月曜日（金曜日、午前9時～午後5時まで活動（仕事）します。

活動内容は、会員への対応、お客様への対応、新規開拓の3種に大別されます。



徳田氏

「こは幹旋」相談のほか、就業している会員の不満や苦情の処理もあります。は新しい引き



小森氏

合いもあります。苦情などの問題も多いと徳田氏は、総じてトラブル処理に手間取ると言います。新規開拓は「営業マン」の腕の見せ所。しかし「厳しいですね、当たり尽くしていますから」と徳田氏。それでも、人が変われば会社も変わる。「再訪問」に心がけているとのこと。「飛び込み」も含め、1日最低10件は回ります。

他方、すでに仕事をいただいている会社で「仕事がふえる」ケースもあると、小森氏はあしなが育英会の例を挙げました。同育英会の施設「レインボーハウス」ではシルバが庭木の植栽や日・宿直の仕事をしていきますが、「よくやってくれるので事務も」と、新規の仕事もをいただくことができました。

初代開拓員だった故福田実範氏は、ある交流会で次の言葉を残しました。「就業開拓の一番の力は、一人ひとりの会員が就業先で立派な仕事をする事です」

就業開拓の業種は公共、民間を問わず広範囲で、この点については次の機会に紹介します



教室 花壇植替作業 パソコン教室

センターPR用写真パネルが完成

昨年度末に旧広報部会が企画・準備したセンターPR用の写真パネル14枚が、このほど完成しました。右の写真はその一部。各種集会、リサイクルフェア等のイベントの機会に活用します。

第62回定時総会「質問への回答

テレフォンサービス応募状況は「就業情報」に掲載

第62回定時総会で参加者の坂義雄氏（神明班）から、「以前テレフォンサービスの年間件数、募集人員、応募人員を公表してほしい」と質問し、「月刊さわやか」への掲載を検討すると回答があったが、どうなっているか？」との質問がありました。この点については、本紙折り込みの「就業情報」で定期的にお知らせするようになっています。

それってどう?

就業開拓員制度

当センターで就業開拓員が初めて設置されたのは、平成17年7月。当時、予想される会員増に対し、公共部門の縮小など就業の伸びが伴わないことが危惧され始め、これを打開するための措置でした。最初の開拓員（当時は開拓専門員）は高良学氏、福田実範氏、松井広通氏の3名。その後、糸井運平氏が加わり計4名になったときもありましたが、民間部門での雇用状況の変化などから、現在2名になっています。

「再録」

今年の安全標語 入選作を発表

最優秀作 1点

安全は 急がず無理せず
油断せず

横東 正良 (平山2)

佳作 5点

慣れが生む 危険と安全
紙一重

田中富士人 (西平山)

控え目と 心のゆとりで
安全を

三宅 省三 (程久保)

無茶するな 年は正直
ウソつかない

足立 忠弘 (西平山)

何時迄も 若いと思つな 知
恵と腕

岩佐みどり (西平山)

気を抜くと とたんに迫る
事故の影

金田 春雄 (日野本町)

前号発表時に一部誤りがあり
ましたので、再録します。



麦わら帽子着用で草刈り作業 (万願寺中央公園で)

熱中症に注意しましょう
帽子着用、水分補給、休息：

また酷暑の季節が巡ってきました。とくに今年は、原発事故に伴う節電が影響し、熱中症患者が急増しています。

当センターでは一昨年来、炎天下で作業する会員のために麦わら帽子を支給し、休憩時には「熱中症予防で休憩中」の看板を出すようにしています。

熱中症は、理解があれば対処できると言われています。要は、作業前、作業の間にも「まめに塩分入りの水分(スポーツドリンクも可)を取ること」だそうです。

第七ブロック安全研修に 参加 当センターから5名

南多摩8市のシルバ人材センターで構成する第七ブロックの会員研修「安全就業」が6月30日、町田市のわくわくプラザ町田で開催されました。各センターから4～5名規模の参加で、安全就業の事例交換、情報交換をしました。当センターからは各職場代表として次の5名が参加しました。

糸井運平氏(平山交流センター受付管理)、井上公也氏(白野駅西駐輪場管理)、金田春雄氏(老健施設サルビア運転業務)、三輪信夫氏(第六小学校管理)、渡辺由紀子氏(南平駅西交流センター受付事務)。

事故報告は直ちに 事務局へ！

事故報告については、このところ毎号でお願いしていますが、引き続き励行のほどお願いします。

(安全管理委員会)

市実施の特定健診、生き生き健診は必ず受けましょう

問合せ先：市健康課、保険年金課

書き込み満載の暦

三浦 和子

我家の冷蔵庫には、太い算用数字と余白だけのシンプルなカレンダーが掛っている。

十二月に新しいカレンダーが手に入ると、私は真っ先に家族や孫達の誕生日を記入し、次に市のお知らせや自治会の活動など、既に分っている予定を書く。年が明けてからは来客、旅行、友人との約束などをその度に書き加え、更に税金や通販での買物と金額、宅配物なども記入する。

草の栽培や畑仕事が忙しくなつて田舎暮らしが増えた夫も、そのカレンダーにゴルフや病院の予定日を書いていたので予定がわかる。

「明日の歯医者は何時だったかなあ」

と山梨から夫が電話で聞いてきた時には、それを見てすぐ時間を知らせることも出来た。

メモ帳代りにぎっしりと書き込まれたカレンダーは、翌月には裏面が上等の画用紙となつて小さい孫たちのお絵描き用に役立つてくれる。